

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福祉医療費（ひとり親）支給事業							事業コード	430301					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実							
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331					
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	102	頁
計画期間	開始年度	昭和50年		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市福祉医療給付事業実施要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	ひとり親家庭の児童及びその親に対して医療費を支給し経済的負担を軽減するとともに、子どもや保護者の健康の保持・増進を図る。					
対象者	ひとり親医療受給者		対象者数	1,744	単位あたりコスト	27.9
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	51,274		49,476		49,862		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		51,274		49,476		49,862								
予算財源内訳	① 一般財源	25,839		24,911		25,105								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	25,435		24,565		24,757								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 1,798		△ 1,789										
	② 配当予算	49,476		47,687										
	③ 執行額	48,973		47,687										
	④ 執行率	99.0%		100.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.08	/	0.31	0.04	/	0.26	0.04	/	0.26	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,415		970		970		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		50,388		48,657		970		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福祉医療費助成事業(ひとり親)		種類	民生費府補助金		実績金額	23,075		決算付属資料	24		頁
			福祉医療審査支払手数料(ひとり親)			民生費府補助金			484			24		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	期限内に更新手続を行った人	人	720	/ 0	741	/ 0	711	/ 775	/ 0	741	
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	更新案内回数	回	1	/ 0	2	/ 0	3	/ 2	/ 0	1	
		単位あたりコスト	48544.8		24486.5		15895.7				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・京都府福祉医療助成事業費補助金要綱に基づく事業。 ・ひとり親家庭の医療費負担を軽減することができる。 ・受給者証交付者数 1,737人	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・毎年所得により審査し、制限額以下のひとり親世帯が対象となっている。 ・医療費助成という性質上、コスト削減や効率化は難しい。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・ひとり親家庭の医療費助成は、経済的負担を軽減する上で有効な事業である。 ・事業の性質上、成果目標、活動実績が設定しにくい。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・京都府の制度であるため、府の実施要綱に基づき、ひとり親家庭の親と子の医療費を助成することで経済的負担を軽減することができている。 ・保険適用分の医療費が無料となることから、頻回受診が懸念される。		
改 善 策	・京都府の制度であるため、府の補助要綱に基づき、適正に事業を実施する。 ・医療費助成について、チラシ等で周知を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	京都子育て支援医療費支給事業							事業コード	430501		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施策名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	102・104	頁
計画期間	開始年度	平成5年	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市京都子育て支援医療費事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都府の医療制度である「京都子育て支援医療費支給事業」を実施し、安心して出産、子育てできる環境の充実を図る。					
対象者	0歳から中学校3年修了までにある乳幼児、児童、生徒		対象者数	9,676	単位あたりコスト	16.4
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	150,168		155,240		147,217		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		150,168		155,240		147,217								
予算財源内訳	① 一般財源	75,770		78,331		74,395								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	74,398		76,909		72,822								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 17,913		3,005										
	② 配当予算	132,255		158,245										
	③ 執行額	131,827		158,187										
	④ 執行率	99.7%		100.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.21	/	0.10	0.09	/	0.10	0.09	/	0.00				
	② 概算人件費	1,930		970		970		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		133,757		159,157		970		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	京都子育て支援医療費助成事業		種類	民生費府補助金		実績金額	77,914		決算付属資料	26		頁
			京都子育て支援医療審査支払手数料			民生費府補助金			739			26		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	助成額	千円	134804	/	0	129311	/	0	155378	/	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	制度利用件数	件	48259	/	0	45895	/	0	51460	/	0
	単位あたりコスト		2.8		2.9		3.1				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・京都府福祉医療助成事業費補助金要綱に基づく事業。 ・医療費を助成することで、子育て世帯の経済的負担を軽減することができる。 ・医療費助成件数 51,460件	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・自己負担額が設定されている。 ・医療費助成という性質上、コスト削減や効率化は難しい。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・子どもの医療費助成は子育て世帯の経済的負担を軽減しており、有効な事業である。 ・事業の性質上、成果目標、活動実績が設定しにくい、現制度の中で必要な医療に対し必要な支援ができています。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	医療費の心配をすることなく、医療機関を受診することができることは、早期の受診により症状の重症化を防ぎ、安心・安全な子育て環境が整っていると言える。 京都府の補助要綱に基づき、適正に事業を行っていく。		
改 善 策	令和4年度中に京都府の福祉医療制度の見直しを検討されることから、本制度の更なる拡充を要望する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	未熟児養育医療給付事業							事業コード 430502			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所 属 長	村上 五十鈴				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	104	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市未熟児養育医療給付事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	身体が発育が未熟なまま出生した、入院が必要な新生児の医療費などを公費で負担することで、乳児の健やかな成長を支援し、世帯の経済的負担を軽減する。					
対象者	身体が発達が未熟なまま出生した入院が必要な新生児		対象者数	43	単位あたりコスト	118.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	6,159		6,012		6,157		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		6,159		6,012		6,157								
予算財源内訳	① 一般財源	2,513		2,546		2,698								
	② 国支出金	2,430		2,310		2,304								
	③ 府支出金	1,215		1,155		1,152								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	1		1		3								
決算情報	① 流充用額	2,809		△ 1,031										
	② 配当予算	8,968		4,981										
	③ 執行額	8,774		4,834										
	④ 執行率	97.8%		97.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.11	/	0.02	0.03	/	0.00	0.03	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	930		240		240		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,704		5,074		240		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	未熟児養育医療給付事業		種類	民生費国庫負担金		実績金額	1,744		決算付属資料	16		頁
			未熟児養育医療給付事業			民生費府負担金			872			24		
			未熟児養育医療給付事業自己負担金			雑入			7			48		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	受給者数	人	17	/	17	34	/	17	17	/	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	医療費助成額	千円	2491	/	0	9370	/	0	3498	/	0
	単位あたりコスト		2.0		0.9		1.4				
			/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・国の補助要綱に基づく事業。 ・医療費と入院食事代を助成することで、経済的負担を軽減することができる。 ・給付延べ件数 46件	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・所得に応じた自己負担額が設定されている。 ・医療費助成という性質上、コスト削減や効率化は難しい。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・未熟なまま出生した乳児に必要な医療費を給付する事業として、有効である。 ・事業の性質上、成果目標、活動実績が設定しにくい。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・身体の発育が未熟なまま出生した、入院が必要な新生児の医療費などを公費で負担し、保護者の経済的負担を軽減した。 ・国の補助要綱に基づき、適切に事務を行っていく。 ・制度のことを知らなかったというようなことがないよう周知する必要がある。		
改 善 策	市のホームページや広報誌、SNSなどを活用し周知を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	自立支援医療(育成医療)給付事業							事業コード	430503		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	104	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	障害者総合支援法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	身体に障害のある児童、又はそのまま放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある児童に対して、症状の改善や効果が期待できる治療費を給付し、安心して出産、子育てができる環境の充実を図る。				
対象者	身体に障害のある児童、又放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある児童	対象者数	-	単位あたりコスト	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,628		1,600		1,186		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		1,628		1,600		1,186								
予算財源内訳	① 一般財源	421		412		304								
	② 国支出金	805		792		588								
	③ 府支出金	402		396		294								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 231		△ 587										
	② 配当予算	1,397		1,013										
	③ 執行額	515		1,013										
	④ 執行率	36.9%		100.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.11	/	0.02	0.03	/	0.00	0.03	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	930		240		240		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,445		1,253		240		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	自立支援医療(育成医療)給付事業		種類	民生費国庫負担金		実績金額	418		決算付属資料	16		頁
			自立支援医療(育成医療)給付事業			民生費府負担金			251			24		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	負担軽減額	千円	1232	/	0	510	/	0	1005	/	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	制度利用者数	人	19	/	0	11	/	0	9	/	0
	単位あたりコスト		69.3		46.8		112.6				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	- 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か - 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か - 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	- 国の補助要綱に基づく事業。 - 治療費を給付することで、経済的負担を軽減することができる。 - 医療費助成人数 9人	☒ 高い
効 率 性	- 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か - 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか - コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	- 所得に応じた自己負担額が設定されている。 - 医療費助成という性質上、コスト削減や効率化は難しい。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	- 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか - 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか - 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	- 障害などを改善する治療費を軽減することは有効である。 - 事業の性質上、成果目標、活動実績が設定しにくい。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	- 症状の改善や効果が期待できる治療費を給付することで、子どもの症状の改善や保護者の経済的負担を軽減することができた。 - 国の補助要綱に基づき、適切に事務を行っていく。 - 制度のことを知らなかったというようなことがないよう周知する必要がある。		
改 善 策	市のホームページや広報誌、SNSなどを活用し周知を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ふくふく医療費支給事業							事業コード	430510						
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実								
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331						
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴								
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算付属資料	104	頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R4現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市ふくふく医療費支給事業実施要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	児童を監護している保護者の、医療費の負担軽減を図り、児童の健康の保持及び増進に寄与する。					
対象者	3歳から中学校3年修了までにある乳幼児、児童、生徒		対象者数	7,857	単位あたりコスト	3.6
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	33,779		28,430		29,012		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		33,779		28,430		29,012								
予算財源内訳	① 一般財源	33,779		28,430		15,384								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		13,628								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 8,354		3,381										
	② 配当予算	25,425		31,811										
	③ 執行額	25,314		27,294										
	④ 執行率	99.6%		85.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.21	/	0.10	0.09	/	0.10	0.09	/	0.00				
	② 概算人件費	1,930		970		970		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		27,244		28,264		970		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ふくふく医療費支給事業(きょうと地域連携交付金)		種類	民生費府補助金		実績金額	11,928		決算付属資料	26		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	負担軽減額	千円	42790	/	0	21245	/	0	23062	/	0
			/		/	/		/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	利用件数	件	71005	/	0	56492	/	0	60953	/	0
	単位あたりコスト		0.7		0.4		0.4				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・医療費を助成することで、子育て世帯の経済的負担を軽減することができる。 ・医療費助成件数 60,953件	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・医療費助成という性質上、コスト削減や効率化は難しい。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・子どもの医療費助成は子育て世帯の経済的負担を軽減しており、有効な事業である。 ・事業の性質上、成果目標、活動実績が設定しにくい。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・3歳以上中学卒業までの児童の医療費について負担を軽減することが出来た。 ・医療費用の心配をすることなく、医療機関を受診することができることは、早期の受診により症状の重症化を防ぎ、安心・安全な子育て環境が整っていると言える。 ・子どもの医療費の更なる負担軽減や無料化の要望を受けることがある。		
改 善 策	・市の方針としては、子育て政策において医療費の観点だけにとらわれず、総合的な子育て施策を考えていく方向である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業										事業コード	430515					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実									
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進							施策コード	331							
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室					所属長	村上 五十鈴									
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算付属資料	104		頁	
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R4現在の状況		継続中			
根拠法令等	福知山市小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業実施要綱																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (																

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	小児慢性特定疾病にかかり、医療費支給認定を受けている方に、必要に応じて日常生活用具を給付し、安心して出産、子育てできる環境の充実を図る。					
対象者	小児慢性特定疾病承認児童		対象者数	2	単位あたりコスト	128.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	171		171		171		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		171		171		171								
予算財源内訳	① 一般財源	86		86		86								
	② 国支出金	85		85		85								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		△ 155										
	② 配当予算	171		16										
	③ 執行額	0		16										
	④ 執行率	0.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.05	/	0.02	0.03	/	0.00	0.03	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	450		240		240		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		450		256		240		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業		種類	民生費国庫補助金		実績金額	8		決算付属資料	18		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	負担軽減した額		千円	307	/ 0	0 / 0	65 / -	/ 0	0			
				/	/	/	/					
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	負担軽減が図れた件数		件	5	/ 0	0 / 0	2 / -	/ 0	0			
	単位あたりコスト			61.4				8.0				
				/		/		/		/		
	単位あたりコスト											

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・国の補助要綱に基づく事業。 ・日常生活用具を購入する世帯へ助成することで、経済的負担を軽減することができる。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・所得に応じた自己負担額が設定されている。 ・医療費助成という性質上、コスト削減や効率化は難しい。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・小児慢性特定疾病児童に対し、日常生活の便宜を図るために給付するものであり、有効な事業である。(給付実績 2件) ・事業の性質上、成果目標、活動実績が設定しにくい。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	小児慢性特定疾病にかかり、医療費支給認定を受けている方に対し、必要に応じて日常生活用具を給付した。制度のことを知らなかったというようなことがないよう周知する必要がある。		
改 善 策	市のホームページや広報誌、SNSなどを活用し周知を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	特別児童扶養手当等事務事業							事業コード	430310					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実							
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331					
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴							
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	128	頁
計画期間	開始年度	昭和39年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	特別児童扶養手当等の支給に関する法律													
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都府から受託事務である特別児童扶養手当等事務事業を実施し、安心して出産、子育てができる環境の充実を図ります。				
対象者	特別児童扶養手当受給資格者	対象者数	177	単位あたりコスト	7.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	393		389		356		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		393		389		356								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	393		389		356								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	41		113										
	② 配当予算	434		502										
	③ 執行額	361		478										
	④ 執行率	83.2%		95.2%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.40	/	0.00	0.11	/	0.00	0.11	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	3,200		880		880		880		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,561		1,358		880		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	特別児童扶養手当事務		種類	民生費国庫委託金		実績金額	341		決算付属資料	22		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	未提出者への督促	回	2	/	0	2	/	0	2	/	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	所得状況届を期限内に提出した人	人	175	/	0	151	/	0	164	/	151
	単位あたりコスト		2.5		2.4		2.9				
			/		/		/		/		
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・京都府の法定受託事務である。 ・心身に中程度以上の障害のある児童を家庭で養育や看護をされている保護者に支払われる。 ・受給権者数 177人	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・毎年所得により審査し、制限額以下の世帯が対象となっている。 ・予算の執行に当たっては、コスト削減や事務の効率化を図っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・事務事業という性質上、成果目標、活動実績が設定しにくい。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・受給者が年1回所得状況届を市へ提出、京都府に進達することにより手当が支給されるため、円滑かつ速やかに進達事務を進めることにより受給者に手当が適切に支給されている。 ・受託事務であるため、京都府と連携しながらの事務となる。		
改 善 策	・国の制度であるため、京都府と連携しながら、事務を進める。 ・京都府への進達は、不備等で返戻されることないよう慎重に確認をし、かつ速やかに行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	子ども政策室一般管理事業							事業コード	430321					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実							
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331					
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴							
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	128	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R4現在の状況		継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	子どもや保護者の健康の保持・増進するための子育て支援事業を円滑に執行するための事務的経費。					
対象者	-		対象者数	-	単位あたりコスト	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	4,199		4,344		3,812		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		4,199		4,344		3,812								
予算財源内訳	① 一般財源	4,199		4,344		3,812								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	231		932										
	② 配当予算	4,430		5,276										
	③ 執行額	3,875		5,044										
	④ 執行率	87.5%		95.6%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15	/	0.00	0.13	/	0.00	0.13	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,200		1,040		1,040		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,075		6,084		1,040		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	児童虐待・DV対策総合支援事業費国庫補助金		種類	民生費国庫補助金		実績金額	1,166		決算付属資料	18		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
			/		/		/		/		
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	予算執行率	%	99.7	/	100	87.5	/	100	95.6	/	100
	単位あたりコスト		-		-		52.8				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	子育て支援事業を円滑に行うため、また保護者が各種制度を利用するにあたり漏れなく、遅滞なく手続きを進めるため必要な事業である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事務用品等は必要最低限の発注にし、郵送は誤送付などで余分な送付がないよう慎重に行っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	子育て支援事業を円滑に行うため、また保護者が各種制度を利用するにあたり漏れなく、遅滞なく手続きを進めるため必要な事業である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	各事業の通知・案内等を遅滞なく送付することができ、予定外の事態が起こっても本事業を活用して対処ができる。【定性的評価】国の進める子育てワンストップサービスの導入により、現在郵送している通知等を電子データで市民へ届ける必要が出てくる。		
改 善 策	国の進める子育てワンストップサービスの導入により、現在郵送している通知等を電子データで市民へ届けることになれば郵送料等の削減につながるかと考えるが、サービスが普及するまでは当面、今の事務手続きを進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	助産委託事業							事業コード	430315		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 児童措置費	会計	01 一般会計	決算付属資料	130	頁
計画期間	開始年度	昭和45年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	児童福祉法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対して助産施設において助産を実施することで、母子の健康の保持・増進を図る。					
対象者	制度申請者		対象者数	3	単位あたりコスト	678.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,380		1,380		1,380		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		1,380		1,380		1,380								
予算財源内訳	① 一般財源	343		343		343								
	② 国支出金	690		690		690								
	③ 府支出金	345		345		345								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	2		2		2								
決算情報	① 流充用額	0		396										
	② 配当予算	1,380		1,776										
	③ 執行額	422		1,776										
	④ 執行率	30.6%		100.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.03	/	0.03	0.02	/	0.04	0.06	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	315		260		480		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		737		2,036		480		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	助産施設		種類	民生費国庫負担金		実績金額	1,179		決算付属資料	16		頁
			助産施設			民生費府負担金			444			24		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	助産制度利用者の安全な助産が行われた率	%	100	/	100	100	/	100	100	/	100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	助産による出産人数	人	3	/	4	1	/	4	4	/	3
	単位あたりコスト		523.1		422.0		444.0				
	人		/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	児童福祉法第22条に基づき助産施設における助産の実施を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	出産にかかる費用として最低限度の扶助を実施した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	経済的理由により入院助産を受けることが困難である妊産婦が安心・安全に出産できるよう、助産施設において助産を実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【評価】 ・令和3年度は、社会福祉課と連携し、4人の生活保護受給者に対して助産を実施した。 【課題】 ・本事業の対象家庭は、経済的困窮をはじめ、出産後の生活や育児をする上でさまざまな課題を持つ家庭が多い。		
改 善 策	令和4年度も引き続き、対象家庭に対し、本事業の利用にとどまらず、その後の包括的、継続的な支援へつなげていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	不妊治療費助成事業							事業コード	430505		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	140	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市子ども子育て支援事業計画				R4現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市不妊治療費助成事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療に要する費用の一部(限度額内)を助成し、経済的、精神的な負担の軽減をはかる。					
対象者	不妊治療を受けている夫婦(事実婚を含む)		対象者数	433	単位あたりコスト	17.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	6,863		6,207		5,747		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		6,863		6,207		5,747								
予算財源内訳	① 一般財源	4,623		4,181		3,882								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	2,240		2,026		1,865								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 240		0										
	② 配当予算	6,623		6,207										
	③ 執行額	5,960		5,006										
	④ 執行率	90.0%		80.7%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35	/	0.01	0.31	/	0.01	0.31	/	0.01	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,825		2,505		2,505		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,785		7,511		2,505		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	不妊治療給付事業助成事業		種類	衛生費府補助金		実績金額	1,636		決算付属資料	26		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	不妊治療申請延件数	件	178	/	270	171	/	260	159	/	433	450
			/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	広報、周知回数	回	1	/	5	1	/	5	6	/	8	10
		単位あたりコスト	6341.0		5,960.0		834.3					
			/		/		/		/			
		単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	経済的負担の軽減のため、京都府不妊治療等給付事業助成費補助金交付要綱に基づき実施した。府が補助対象とする自己負担額の1/2よりも高い助成率とし、市民の経済的負担の軽減を図った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	不妊治療については、不安や悩みを抱えながら取り組む人が多いため、対面申請のみではなく、郵送による申請を受け付け、市民の負担を減らし、安心して事業を利用できる体制をつくった。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	精神的負担を軽減して安心して治療に専念できるよう、治療費の自己負担額に対して一部助成金を交付した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年度は、事業の周知をはかるため、事業内容について新聞に掲載した。治療者のうち妊娠に繋がっている状況があるが、不妊治療は精神的負担も伴う治療であり、制度を利用した人のうち出産につながった人の数値を表すことは精神的負担の増大につながるため具体的な数値は表していない。 不妊治療を受けた人すべてが本事業の利用につながることを目的に実施しているが、申請件数は年々減少している。		
改 善 策	不妊治療を受けたすべての人が助成制度を利用できるようにするため、令和4年度はLINE掲載も新たに加えて広く周知を図る。 令和4年度から保健適用となる治療内容が拡充することにより、助成内容を拡充して実施する。 医療機関に制度の案内文を配布し、対象者への周知に対する協力を得る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	MR(麻しん・風しん)予防接種事業							事業コード	410315		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	140	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	感染力が強く集団感染が危惧される麻しん・風しんの感染を防止するため、1歳代及び小学校入学前の2回接種することで確実に免疫を獲得し、集団感染を予防し、子どもや保護者の健康の保持・増進につなげる。							
対象者	第1期:1歳～2歳未満(680人)		第2期:年長児(700人)		対象者数	1,380	単位あたりコスト	10.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (							

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	16,088		15,971		15,516		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	16,088		15,971		15,516				
予算財源内訳	① 一般財源	16,088		15,971		15,516				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 33		0						
	② 配当予算	16,055		15,971						
	③ 執行額	15,819		13,902						
	④ 執行率	98.5%		87.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07	/	0.07	0.06	/	0.07	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	735		655		655		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		16,554		14,557		655		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	麻しん罹患患者数	人	0	/	0	0	/	0	/	0	0
	風しん罹患患者数	人	0	/	0	0	/	0	/	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	接種率(※1期は2歳到達時)	%	88.6	/	95	93.3	/	95	96.9	/	95
	単位あたりコスト		184.8		169.5		143.5				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・生後2か月から開始の他の予防接種と説明書、予診票を送付することで、郵送料のコスト削減を行った。(MR1期) ・ホームページ掲載、新聞掲載により数回にわたって接種の必要性、接種方法について周知した。 ・かかりつけ医で、安心して接種ができるよう、協力医療機関に対して、予防接種ガイドラインや福知山市予防接種取扱い手順を配布し、予防接種に関する情報提供を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・1期については乳児健診後の個別接種勧奨により接種率が向上しており、感染予防できている。 ・2期についても、未接種勧奨を行うことで、大きく接種率を下げることなく、感染予防できている。 ・医療機関と連携し、予防接種の有効性、副反応、接種計画の説明等を踏まえた接種勧奨の協力を得て接種率向上につなげた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年度は、乳幼児健康診査等での未接種勧奨により、1期の2歳到達時の接種率は高いが、2期については、年間2回の未接種勧奨(保育園、幼稚園、こども園に案内文書を配布、また、新聞に掲載)し接種率向上に努めたが、国の目指す95%以上の接種率が維持できなかった。		
改 善 策	予防接種の必要性をお知らせするため、地域新聞に掲載する等の広報や、保育園、幼稚園、こども園に案内文書を配布をするなど、未接種勧奨を続けていく。 2期の接種率の向上のため、令和3年度はコロナの感染者増により、2月に行うことになった個別未接種勧奨の時期を早め、令和4年度は、令和5年1月に未接種勧奨文を個別に郵送する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	二種混合予防接種事業							事業コード	410317		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施策名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	140	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	子どもたちの健やかな成長を脅かすジフテリア・破傷風の感染症を防ぎ、子どもや保護者の健康の保持・増進につなげる。					
対象者	11歳から13歳誕生日前日		対象者数	1,366	単位あたりコスト	2.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,774		2,717		4,717		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
小計(①～③)		2,774		2,717		4,717				
予算財源内訳	① 一般財源	2,774		2,717		4,717				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 2		0						
	② 配当予算	2,772		2,717						
	③ 執行額	2,741		2,688						
	④ 執行率	98.9%		98.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07	/	0.04	0.05	/	0.04	0.05	/	0.00
	② 概算人件費	660		500		500		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,401		3,188		500		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・小学校の協力を得て、啓発案内文書を配布した。またホームページ掲載、新聞掲載により数回にわたって接種の必要性、接種方法について幅広く周知した。 ・予診票の再発行については、コスト削減、接種勧奨の機会とするため来所による発行を実施した。 ・かかりつけ医で、安心して接種ができるよう、協力医療機関に対して、予防接種ガイドラインや福知山市予防接種取扱い手順を配布し、予防接種に関する情報提供を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・早い時期に接種できるよう予診票を4月当初に送付した。 ・医療機関と連携し、予防接種の有効性、副反応、接種計画の説明等を踏まえた接種勧奨の協力を得て接種率向上につなげた。 ・接種への意識を高めるため、接種完了の期限が近付く2月に個別に未接種勧奨をした。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	未接種勧奨直後は接種者の増加がみられるため、個別通知の効果は認められる。対象者が、小学6年生という年齢のため、教育委員会等と連携した未接種勧奨を行ったが接種率の向上につながらなかった。接種率は87.8%であった。(R2年度89.2%)		
改 善 策	令和4年度から、接種できる機会を増やすため、有効期限を11歳到達時から13歳未満とする。接種対象時期が重なる日本脳炎と同時期に接種勧奨を行い、同時接種ができるよう保護者の利便性を図る。地域の新聞等に、予防接種の重要性について継続して掲載し伝えていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

(単位：千円)

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・保育園・幼稚園・こども園や小学校の協力を得て、啓発の案内文書を配布した。また、新聞記事に掲載し、幅広く周知を行った。 ・予診票の再発行については、コスト削減、接種勧奨の機会とするため来所による発行を実施した。 ・協力医療機関に対して、予防接種ガイドラインや福知山市予防接種取扱い手順を配布し、予防接種に関する情報提供を行った。 ・里帰り等の理由で、指定医療機関外で接種する人に対して適切な時期に接種できるよう、償還払いを行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・接種歴のある人では、接種回数が多くなるほど抗体保有率が高くなるため、特例措置の対象者であっても接種回数をきちんと接種することが重要である。 ・ワクチン不足により、本来接種対象者であっても接種優先者でない場合は、国の方針により年度内の接種を待ってもらっていたため、接種者数が伸びなかった。 ・医療機関に、予防接種の有効性、副反応、接種計画の説明等接種勧奨の協力を得て、接種率向上につなげた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・令和3年度は、ワクチン不足であったが、定期接種の接種率は向上した。特例措置の接種率は伸びなかったが、他府県での接種による償還払いが増加した。 ・3歳児健診の他、保育園・幼稚園・こども園、小学校等への案内文書配布の効果があり、再発行者数は165件あった。ただし、ワクチン不足により、接種希望時期に接種できなかった人もいた。		
改 善 策	・令和3年度ワクチン不足のために、接種が延長となった対象者に対して早期に接種するよう個別勧奨をしていく。 ・ワクチン不足で保護者が混乱しないよう、ワクチンの流通状況を医療機関や薬品会社から情報収集をして、接種勧奨の時期を見極める。 ・令和4年度は、初回予診票を3歳1か月に発送していたが、接種希望者が早期に接種計画を立て、接種できるように3歳誕生月に発送する。 ・接種対象時期が重なるDT(ジフテリア破傷風)と同時期に接種勧奨を行い、同時接種ができるように利便性を図り、接種率向上につなげる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ヒブワクチン接種事業							事業コード	410353		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	140・142	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	生後間もない時期に感染すると、髄膜炎・敗血症・肺炎など重篤な感染症を起こす可能性があるため、早期(生後2カ月)に開始し、必要回数接種し感染予防することで、保護者の健康の保持・増進ができる。				
対象者	生後2月から5歳未満の福知山市民	対象者数	2,618	単位あたりコスト	8.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	24,131		22,813		21,829		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	24,131		22,813		21,829							
予算財源内訳	① 一般財源	24,131		22,813		21,829							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 726		0									
	② 配当予算	23,405		22,813									
	③ 執行額	21,459		20,545									
	④ 執行率	91.7%		90.1%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.10	/	0.04	0.09	/	0.04	0.09	/	0.04	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	900		820		820		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		22,359		21,365		820		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		
												頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	京都府医療機関以外での接種者数	人	28	/	35	35	/	35	/	35	35
	小児細菌性髄膜炎報告数(人以下)		/		2 / 3		1 / 3		/ 2		0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	3歳到達時接種率	%	98.8	/	95	98.5	/	95	98.4	/	98.5
	単位あたりコスト		219.3		217.9		208.8				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・生後2か月から開始する他の予防接種と一緒に予防票を送付して郵送料のコスト削減につなげた。 ・ホームページ掲載、新聞掲載により接種の必要性、方法について周知した。 ・かかりつけ医で、安心して接種ができるよう、協力医療機関に対して、予防接種ガイドラインや福知山市予防接種取扱い手順を配布し、予防接種に関する情報提供を行った。 ・里帰り等の理由で、指定医療機関外で接種する人に対して、適切な時期に接種できるよう、償還払いを行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・海外からの転入者及び在住者の希望者について、多言語の予防票を交付し、接種完了できるよう支援した。 ・医療機関と連携し、予防接種の有効性、副反応、接種計画の説明等を踏まえた接種勧奨の協力を得て接種率向上につなげた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・乳児健診(4か月児・10か月児健診)等で未接種勧奨できている。 ・追加接種の機会を逃さないよう、幼児健診(1歳半健診)等で、接種勧奨を行うことで接種率が維持できている。 ・生後2か月から接種する他の予防接種と同時接種できるよう、他の予防接種と同時に案内文書を送付することで予防接種への意識の向上につなげられた。 ・妊娠期や産後から、対象者と関わりのある保健師や相談員と情報共有を行い支援した。 ・令和3年度は海外からの転入者等で、接種方法や間隔についての相談があった場合に、スムーズに対応できない時があった。		
改 善 策	・接種間隔や接種方法等について、円滑かつ適正な接種を行うために、外部専門機関である予防接種リサーチセンター等への相談内容が職員間で共有できるように対応内容をデータ化し活用する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	小児用肺炎球菌ワクチン接種事業							事業コード	410354							
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実									
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331							
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴									
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計		決算付属資料	142		頁
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名					R4現在の状況		継続中		
根拠法令等	予防接種法															
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	生後間もない時期に感染すると、肺炎球菌性髄膜炎など重篤な感染症を起こす可能性があるため、早期(生後2カ月)に開始し、必要回数接種し感染予防することで、保護者の健康の保持・増進ができる。					
対象者	生後2月から5歳未満の福知山市民		対象者数	2,622	単位あたりコスト	11.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	33,274		31,866		30,488		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	33,274		31,866		30,488							
予算財源内訳	① 一般財源	33,274		31,866		30,488							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 3,394		△ 1,496									
	② 配当予算	29,880		30,370									
	③ 執行額	29,258		28,573									
	④ 執行率	97.9%		94.1%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.10	/	0.04	0.09	/	0.04	0.09	/	0.04			
	② 概算人件費	900		820		820		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		30,158		29,393		820		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額					
								決算付属資料					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	京都府医療機関以外での接種者数	人	27	/	35	36	/	35	30	/	35
	小児細菌性髄膜炎報告数(人以下)		/		2		/		1		0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	3歳到達時接種率	%	98.8	/	95	98.5	/	95	98.5	/	99
	単位あたりコスト		313.3		297.0		290.1				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・生後2か月から開始する他の予防接種と一緒に予防票を送付して郵送料のコスト削減につなげた。 ・ホームページ掲載、新聞掲載により接種の必要性、方法について周知した。 ・かかりつけ医で、安心して接種ができるよう、協力医療機関に対して、予防接種ガイドラインや福知山市予防接種取扱い手順を配布し、予防接種に関する情報提供を行った。 ・里帰り等の理由で、指定医療機関外で接種する人に対して、適切な時期に接種できるよう、償還払いを行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・海外からの転入者及び在住者の希望者について、多言語の予防票を交付し、接種完了できるよう支援した。 ・医療機関と連携し、予防接種の有効性、副反応、接種計画の説明等を踏まえた接種勧奨の協力を得て接種率向上につなげた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・乳児健診(4か月児・10か月児健診)等で未接種勧奨できている。 ・追加接種の機会を逃さないよう、幼児健診(1歳半健診)等で、接種勧奨を行うことで接種率が維持できている。 ・生後2か月から接種する他の予防接種と同時接種できるよう、他の予防接種と同時に案内文書を送付することで予防接種への意識の向上につなげられた。 ・妊娠期や産後から、対象者と関わりのある保健師や相談員とも情報共有を行い支援した。 ・令和3年度は海外からの転入者等で、接種方法や間隔についての相談があった場合に、スムーズに対応できない時があった。		
改 善 策	・令和4年度は、転入者が円滑かつ適正な接種を行えるよう、外部専門機関である予防接種リサーチセンター等への相談内容をデータ化して、職員間で共有する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	結核予防接種事業							事業コード	410359		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	142	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	結核髄膜炎など、子どもの健やかな成長を脅かす病気から、命と健康を守ることができる。				
対象者	生後3か月から1歳未満の福知山市民	対象者数	640	単位あたりコスト	11.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	6,157		5,900		6,801		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0					
小計(①～③)		6,157		5,900		6,801					
予算財源内訳	① 一般財源	6,157		5,900		6,801					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	6,157		5,900							
	③ 執行額	5,319		5,603							
	④ 執行率	86.4%		95.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.05	/	0.02	0.20	/	0.10	0.20	/	0.00	0.00
	② 概算人件費	450		1,850		1,850		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,769		7,453		1,850		0			
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	小児の結核罹患数	人	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	1歳到達時接種率	%	99.1 / 99.8	98.7 / 99.8	99.5 / 99.8	/ 100	100
	単位あたりコスト		59.7	53.9	56.3		
			/	/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・郵送料のコスト削減のために、生後2か月時から開始する他の予防接種と一緒に 予診票を送付した。 ・接種の必要性、方法についてより多くの方に周知ができるようホームページ・新聞掲載をした。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・予防接種法に定められた期間(1歳に達する日の前日)に接種が完了できるように生後2か月時に予診票を送付した。 ・接種完了の期限が近付いているが、接種が完了できていない対象者には、期限の1か月前には電話で接種勧奨を行った。 ・対象者の利便性を考え、市外の一部医療機関とも委託契約を行い、福知山市の予診票を使って接種を行えるようにした。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【評価】 ・令和3年度も、未接種勧奨を行うことにより、保護者が接種忘れに気付くことができ、1歳到達時の接種率は99%以上となった。 ・令和3年度も市内の小児の結核発症は無く、感染予防ができていると考えられる。 【課題】 ・保護者が接種を忘れており、予防接種法に定められた期間に接種を完了出来ないケースがあった。 ・外国籍の対象者が増えているため、予診票の記入や接種方法、接種期限について分かるように案内をすることで、スムーズに接種できる配慮が必要である。		
改 善 策	・新生児訪問や乳児健診の機会に母子健康手帳で接種履歴を確認し、未接種の場合は予防接種法で定められた期間に接種が完了するよう、個別に接種勧奨を続けていく。 ・予診票発送前に、対象者と関わりのある担当保健師や相談員と情報共有を行い、必要時は主治医と連携をとり、個々の接種計画をふまえた支援を行う。 ・多言語の予診票を使用し、必要時配布する。 ・令和4年度は、個別勧奨の際に、児の体調次第では予定している日に接種できない場合があるため、余裕をもって接種の予定を立てられるよう支援する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	B型肝炎予防接種事業							事業コード	410365		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	142	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	B型肝炎による持続感染を防ぎ、将来発症につながる恐れのある慢性肝炎・肝硬変・肝がんを予防し、子どもや保護者の健康保持増進につなげる。				
対象者	生後2月～満1歳未満	対象者数	1,920	単位あたりコスト	7.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	13,671		13,074		12,402		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	13,671		13,074		12,402				
予算財源内訳	① 一般財源	13,671		13,074		12,402				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 8		0						
	② 配当予算	13,663		13,074						
	③ 執行額	12,276		12,424						
	④ 執行率	89.8%		95.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.13	/	0.02	0.12	/	0.02	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,090		1,010		1,010		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,366		13,434		1,010		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	母子感染予防のための児の予防接種率	%	100	/	100	100	/	100	/	100	100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	1歳到達時接種率	%	99	/	95	98.6	/	95	99.2	/	99
	単位あたりコスト		132.6		124.5		125.2				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・生後2か月から開始する他の予防接種と一緒に予防票を送付して郵送料のコスト削減につなげた。 ・ホームページ掲載、新聞掲載により接種の必要性、方法について周知した。 ・かかりつけ医で、安心して接種ができるよう、協力医療機関に対して、予防接種ガイドラインや福知山市予防接種取扱い手順を配布し、予防接種に関する情報提供を行った。 ・里帰り等の理由で、指定医療機関外で接種をする人に対して、適切な時期に接種できるよう、償還払いを行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・母子感染者によるワクチン接種者数を乳児健診時に把握した。 ・医療機関と連携し、予防接種の有効性、副反応、接種計画の説明等を踏まえた接種勧奨の協力を得て、接種率を維持した。 ・海外からの転入者の接種歴を把握し、日本での継続した接種を行い接種完了できるよう、外部専門機関である予防接種リサーチセンター等を利用し支援した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・新生児訪問での接種勧奨や里帰りでの接種(償還払いでの対応)により、予防接種開始時期を逃さず1歳到達時接種率は、99%で実施できている。 ・海外からの転入者については、B型肝炎ウイルス予防接種以外のA型やC型肝炎予防接種をされていることもあり、予防接種手帳などで接種履歴を正確に把握し、スムーズに接種ができる支援の方法が課題。		
改 善 策	・令和4年度は、転入者が円滑かつ適正な接種を行えるよう、外部専門機関である予防接種リサーチセンター等への相談内容をデータ化して、職員間で共有する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	4種混合予防接種事業							事業コード	410375		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施策名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	142	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	ジフテリア・破傷風・百日咳・急性灰白髄炎の感染症を予防する。 生後間もない時期(生後3カ月)に開始し、必要回数接種し感染予防することで、保護者の健康の保持・増進ができる。					
対象者	生後3か月から90月までの福知山市民		対象者数	2,630	単位あたりコスト	10.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	29,824		28,977		27,862		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	29,824		28,977		27,862							
予算財源内訳	① 一般財源	29,824		28,977		27,862							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 252		0									
	② 配当予算	29,572		28,977									
	③ 執行額	27,417		27,137									
	④ 執行率	92.7%		93.7%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.08	/	0.03	0.07	/	0.03	0.07	/	0.03			
	② 概算人件費	715		635		635		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		28,132		27,772		635		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・生後2か月から開始する他の予防接種と一緒に予防接種を送付して郵送料のコスト削減につなげた。 ・ホームページ掲載、新聞掲載により接種の必要性、方法について周知した。 ・かかりつけ医で、安心して接種ができるよう、協力医療機関に対して、予防接種ガイドラインや福知山市予防接種取扱い手順を配布し、予防接種に関する情報提供を行った。 ・里帰り等の理由で、指定医療機関外で接種する人に対して、適切な時期に接種できるよう、償還払いを行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・海外からの転入者及び在住者の希望者について、多言語の予防接種を交付し、接種完了できるよう支援した。 ・医療機関と連携し、予防接種の有効性、副反応、接種計画の説明等を踏まえた接種勧奨の協力を得て接種率向上につなげた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・乳幼児健診(4か月児・10か月児健診)等で未接種勧奨できている。 ・追加接種の機会を逃さないよう、乳幼児健診(1歳半健診)等で、接種勧奨を行うことで接種率が維持できている。 ・生後2か月から接種する他の予防接種と同時接種できるよう、他の予防接種と同時に案内文書を送付することで予防接種への意識の向上につなげられた。 ・妊娠期や産後から、対象者と関わりのある保健師や相談員とも情報共有を行い支援した。 ・令和3年度は、海外からの転入者等について、予防接種の種類等が日本と異なることが多く、予防接種手帳等で接種履歴を正確に把握し、スムーズに接種を行えるよう支援しているが、転入者が多国籍にわたり、海外の予防接種が複雑であることが課題である。		
改 善 策	・対象者と関わりのある保健師や相談員と情報共有を行い、保健師や相談員に直接接種勧奨を依頼する。 ・令和4年度は、転入者が円滑かつ適正な接種を行えるよう、外部専門機関である予防接種リサーチセンター等への相談内容をデータ化して、職員間で共有する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

(単位：千円)

事業名	水痘予防接種事業										事業コード	410379				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実							
	施策名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進							施策コード	331						
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室						所属長	村上 五十鈴							
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計		決算付属資料	144		頁
計画期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名						R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	予防接種法															
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()															
関連事業																

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	14,530		14,528		14,282		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	14,530		14,528		14,282							
予算財源内訳	① 一般財源	14,530		14,528		14,282							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	295		0									
	② 配当予算	14,825		14,528									
	③ 執行額	14,754		11,914									
	④ 執行率	99.5%		82.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.12	/	0.02	0.11	/	0.01	0.11	/	0.01	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,010		905		905		905		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,764		12,819		905		905		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	3歳以下の罹患率	人	3 / 15	6 / 15	4 / 5	/ 5	5
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	3歳到達時接種率	%	95.8 / 95	97.2 / 95	96.7 / 98	/ 98	98
	単位あたりコスト		139.2	151.8	123.2		
	2回目の接種率	%	59.4 / 80	94.4 / 80	95 / 95	/ 95	95
	単位あたりコスト		224.5	156.3	125.4		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。 ・予防接種法で定められた幼児期の接種が確実にできるよう、生後2か月時に予防票を個別発送した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・生後2か月から開始の他の予防接種と説明書、予防票を送付することで、郵送料のコスト削減を行った。 ・ホームページ掲載、新聞掲載により数回にわたって接種の必要性、接種方法について周知した。 ・かかりつけ医で、安心して接種ができるよう、協力医療機関に対して、予防接種ガイドラインや福知山市予防接種取扱い手順を配布し、予防接種に関する情報提供を行った。 ・指定医療機関外でも適切な時期に接種できるよう、償還払いを行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・乳児健診後の個別接種勧奨により、2回目の接種率が向上しており、重症化が予防できている。 ・医療機関と連携し、予防接種の有効性、副反応、接種計画の説明等を踏まえた接種勧奨の協力を得た。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年度は、市内においても単発での水痘罹患患者はあるが、3歳到達時接種率は96%以上と高水準を保持している。2回目接種については、幼児健診や2歳児歯科健診の通知に勧奨文書を同封した。また、電話で個別に接種勧奨を行ったので、2回目接種率が95.0%と向上した。幼児健診での受診勧奨や保育園、幼稚園、こども園に案内文書を配布、また、新聞掲載により、定期的に広報し、接種率向上に努めた。 接種勧奨後も接種期間内に接種できないケースがあった。		
改 善 策	未接種者の保護者に対しては、担当保健師や相談員と情報共有を行い、必要時には、園の協力を得て働きかけていく等、個々に応じた支援を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	風しん予防接種費助成事業							事業コード	410380							
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実									
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331							
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴									
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計		決算付属資料	144		頁
計画期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名					R4現在の状況		継続中		
根拠法令等	京都府風しん予防接種助成事業															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	対象者が予防接種を受け、風しんへの感染を予防することで、先天性風しん症候群(聴力障害、白内障、先天性心疾患)から子どもの命を守り、子どもや保護者の健康の保持・増進を図る。					
対象者	事業要件に該当する市民		対象者数	70	単位あたりコスト	38.9
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	468		468		468		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	468		468		468								
予算財源内訳	① 一般財源	235		235		235								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	233		233		233								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 1		0										
	② 配当予算	467		468										
	③ 執行額	321		376										
	④ 執行率	68.7%		80.3%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15	/	0.01	0.29	/	0.01	0.29	/	0.01	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,225		2,345		2,345		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,546		2,721		2,345		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	風しん予防接種助成事業補助金		種類	衛生費府補助金		実績金額	187		決算付属資料	26		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	先天性風しん症候群発症者数	人	0	/	0	0	/	0	/	0	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	接種者数	人	84	/	70	61	/	70	74	/	80
	単位あたりコスト		5.3		5.3		5.1				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	対象者が感染予防の機会を逃すことなく事業を利用することで、安心して妊娠期を過ごし出産が迎えられることを目的に、京都府風しん予防接種助成事業に基づき事業を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・妊婦やその家族が予防接種の必要性を理解し接種につながるように、パパママ学級や新生児訪問などの機会に個別指導で接種勧奨を行った。 ・申請書の修正頻度の減少と、事務処理の迅速化を目的に申請書の押印を廃止した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・ホームページや案内文書を更新したり、新聞に事業内容の記事を掲載して広報をした。 ・風しん予防接種を実施している産婦人科等に事業実施の説明文を郵送し、接種勧奨に対する協力を得て接種率向上につなげた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・福知山市内での風しん罹患者の報告はなかった。 ・パパママ学級や新生児訪問等の機会に個別指導を行い、また、風しん予防接種を実施している産婦人科等に接種勧奨に対する協力を得ることで接種者数は目標値を達成した。 ・抗体価が低い妊婦の同居者の申請がR3年度は0件だった。		
改 善 策	・本事業の啓発が対象者の家族や職場等、周囲の人の感染予防の認識や社会全体の風しんの発症予防にもつながる。 ・R4年度は、ホームページの掲載内容や案内文書について、対象者の条件が分かりやすい文章に変更する。 ・R4年度は、郵送申請を案内文書の中で強調し、来所申請以外の申請者の増加につなげる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	風しん抗体検査・予防接種事業							事業コード	410381		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	144	頁
計画期間	開始年度	平成31年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	風しん抗体価の低い昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の抗体保有率を引き上げ、風しんの発生、及びまん延予防し、感染拡大を防止することで、先天性風しん症候群から子どもを守り、保護者の健康保持増進につなげる。				
対象者	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれのクーポン券未使用者	対象者数	4,000	単位あたりコスト	2.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	28,812		26,609		10,513		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	△ 10,467		△ 13,850		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		18,345		12,759		10,513							
予算財源内訳	① 一般財源	11,493		8,090		6,685							
	② 国支出金	6,852		4,669		3,828							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	1,685		0									
	② 配当予算	20,030		12,759									
	③ 執行額	20,004		6,457									
	④ 執行率	99.9%		50.6%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.23 / 0.02	0.22 / 0.03	0.22 / 0.03	0.00 / 0.00								
	② 概算人件費	1,890		1,835		1,835		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		21,894		8,292		1,835		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	感染症予防事業費等国庫補助金		種類	衛生費国庫補助金		4,555		決算付属資料	18		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	風しん発症者数	人	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	風しん抗体価受検者数	人	860 / 1350	1964 / 1500	573 / 2600	/ 500	500
	単位あたりコスト		10.7	10.2	11.3		
			/	/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・国の風しんの追加的対策として、クーポン券を利用して、風しん抗体検査と風しんの定期接種を全国の指定医療機関等で実施した。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・勤務地や健診時において、抗体検査や予防接種が受けられるように全国で実施した。 ・抗体検査の結果により、抗体検査の低い対象者に対して予防接種を実施することで、効果的な接種ができている。 ・特定健診の対象者への案内文に、健診と同時実施ができることを周知し、郵送料を削減した。 ・接種の必要性、方法についてより多くの方に周知できるようホームページや広報誌に掲載した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・事業終了年度であったため、クーポン券未使用者に対して、再度クーポン券を個別郵送した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・福知山市内での風しん罹患報告者はなかった。 ・令和3年度終了予定であった事業のため、9月・10月に抗体検査未受検者全員にクーポン券を再送付したが、抗体検査受検者数は伸びなかった。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、年度末での駆け込み受検者数が見込みより減少した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全国的に抗体検査受検者数が伸びず、本事業は、令和4年2月に国の方針により令和6年度までの3年間延長されることとなった。		
改 善 策	・未受検者及び未接種者に対して個別勧奨通知を行い、期間延長及び必要性について周知をする。 ・特定健診や職場健診、人間ドックの場で受検ができるよう関係機関に対して、「健診等申し込み時に、風しんクーポン券の利用促進」を依頼し、対象者の利便性を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ロタウイルスワクチン予防接種事業							事業コード	410391		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	144	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	ロタウイルス感染症(主症状は、急激なおう吐と水溶性の下痢を繰り返す。発熱を伴うこともある。)は、ウイルスに対する薬剤がなく、対症療法(症状をやわらげる)しかないため、ワクチン接種により胃腸炎を予防することで、子どもの健康の保持増進ができる。				
対象者	生後2月～生後32週の福知山市民	対象者数	1,938	単位あたりコスト	9.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	8,829		19,945		18,195		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		8,829		19,945		18,195								
予算財源内訳	① 一般財源	8,829		19,511		18,195								
	② 国支出金	0		434		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 431		△ 882										
	② 配当予算	8,398		19,063										
	③ 執行額	6,436		16,788										
	④ 執行率	76.6%		88.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.03	/	0.05	0.07	/	0.03	0.07	/	0.03	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	365		635		635		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,801		17,423		635		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	マイナンバー情報連携体制整備事業補助金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	73		決算付属資料	18		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	乳児感染性胃腸炎罹患報告者 (サーベイランス)	人	/	2 / 10	3 / 10	/ 10	5
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	接種率(生後8月到達時)	%	/	96.7 / 97	98.7 / 97	/ 97	99
	単位あたりコスト			66.6	170.1		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・予防接種法に基づき、指定医療機関等で個別接種を実施した。 ・予防接種法で定められた乳児期の接種が確実にできるよう、生後2か月時に予防票を個別発送した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・生後2か月から開始の他の予防接種と説明書、予防票を送付することで、郵送料のコスト削減を行った。 ・ホームページ掲載、新聞掲載により接種の必要性、接種方法について周知した。 ・かかりつけ医で、安心して接種ができるよう、協力医療機関に対して、予防接種ガイドラインや福知山市予防接種取扱い手順を配布し、予防接種に関する情報提供を行った。 ・里帰り等の理由で、指定医療機関外で接種する人に対して、適切な時期に接種	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・乳児感染性胃腸炎罹患者を減少させるため、個別に接種勧奨を行い、スムーズな接種を勧めた。 ・医療機関と連携し、予防接種の有効性、副反応、接種計画の説明等を踏まえた接種勧奨の協力を得て、接種率向上につなげた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・生後2か月から接種する他の予防接種と同時接種できるよう、他の予防接種と同時に案内文書を送付することで予防接種への意識の向上につながり、令和3年度の接種率は、98.7%と向上した。 ・他の予防接種に比べ、接種期間が短いため、新生児訪問時や乳児健診時までに未接種者の状況を把握することが難しい場合がある。		
改 善 策	・新生児訪問や乳児健診の機会に母子健康手帳で接種履歴を確認し、未接種の場合は予防接種法で定められた期間に接種が完了するよう、個別に接種勧奨を行う。 ・予防票発送前に、対象者と関わりのある担当保健師や相談員と情報共有を行い、必要時主治医と連携を取り、個々に応じた支援を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	食育事業							事業コード	410339		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	148	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和13年度	関連計画名	福知山市健康増進計画、第2期福知山市子ども・子育て支援実施計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	食育基本法、母子保健法第9条、福知山市乳児栄養食品支給事業実施要綱										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・妊産婦、乳幼児、児童、生徒、その保護者が、食生活の基本を正しく理解し安心して出産、子育てが行えるよう、健康教育や相談事業、粉乳の支給等を行い、子どもや保護者の健康の保持増進を図る。 ・必要な対象者に粉乳を支給することで、乳児の健康の保持増進を図る。					
対象者	妊産婦、乳幼児、児童、生徒、その保護者		対象者数	10,474	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	374		362		346		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		374		362		346								
予算財源内訳	① 一般財源	368		224		212								
	② 国支出金	0		134		134								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	6		4		0								
決算情報	① 流充用額	△ 37		0										
	② 配当予算	337		362										
	③ 執行額	337		146										
	④ 執行率	100.0%		40.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.75	/	0.01	0.74	/	0.02	0.74	/	0.02	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	6,025		5,970		5,970		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,362		6,116		5,970		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	母子保健衛生費国庫補助金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	139		決算付属資料	18		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	乳児健診において発育上の問題がある児の割合	%	10.6	/	8	10.6	/	8	8.7	/	8
				/			/			/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	食に関する個別相談者数	人	703	/	700	731	/	700	834	/	800
	単位あたりコスト		0.5		0.5		0.2				
			/		/		/		/		
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	食育基本法、母子保健法等に基づき、妊産婦やその家族、乳幼児の保護者に対し、健康教育や相談等の食育事業を行った。 1歳までの乳幼児をもつ何らかの支援が必要な低所得世帯に、粉乳の支給を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	食生活に関する正しい知識を普及するため、市のホームページに情報を掲載することでペーパーレス化を図り、費用を削減した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	心身の不調、子育ての不安を解消し、安心して子育てができる環境をつくるため、保健師と栄養士が連携し、必要に応じて訪問や相談事業を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年度は、健診、教室、相談事業、依頼による教室や相談の場も活用し、栄養指導、食育啓発を実施した。 電話やLINE相談は、気軽に相談できるツールとして悩みが多く寄せられ、保健師と栄養士が連携協力し、より丁寧に寄り添い支援を行った。 ホームページを活用して、離乳食の進め方等に関する正しい情報発信を積極的に行った。 食に関する基礎知識や調理技術の低さ、SNSなどから得る多くの情報に振り回されるなど、子どもの食事や家庭の食事に悩む保護者が増加しており、さらに丁寧な個別支援が必要。		
改 善 策	発育や食育に課題のある児や保護者に寄りそった支援ができるよう、個別相談や家庭訪問を充実させる。 令和4年4月より、個別にゆっくり相談できる「栄養士相談」の日を設定。 教室や相談に来られなくても、誰もが正しい情報が得られる場として、子どもの食育に関する情報をホームページなどを活用して積極的に発信する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	子育て世代包括支援センター事業(母子保健型)							事業コード	430344		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	152	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	母子保健法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	全ての子育て家庭の情報を一元化した「子育て総合相談窓口」に、多様な分野の専門職を配置し、関係機関と連携して子どもや保護者を伴走型で支援することで、妊娠期から子どもの自立期に至るまで、切れ目ない子育て支援を包括的に展開する。このことにより、全ての子育て家庭が妊娠期から、安全に安心して子育てすることができ、虐待の未然防止につながる。					
対象者	18歳以下の子育て家庭		対象者数	12,783	単位あたりコスト	1.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,349		7,156		7,801		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	500		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		5,849		7,156		7,801								
予算財源内訳	① 一般財源	2,182		3,155		2,667								
	② 国支出金	1,808		2,225		3,965								
	③ 府支出金	1,859		1,776		1,169								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	558		0										
	② 配当予算	6,407		7,156										
	③ 執行額	5,873		5,601										
	④ 執行率	91.7%		78.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.57	/	0.08	1.59	/	0.15	1.59	/	0.15	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	12,760		13,095		13,095		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		18,633		18,696		13,095		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	子ども・子育て支援交付金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	2,910		決算付属資料	18		頁
			母子保健衛生費国庫補助金			衛生費国庫補助金			448			18		
			子ども・子育て支援交付金			衛生費府補助金			864			26		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	産後十分なケアを受けたと感じる産婦の割合	%	87	/ 90	87	/ 90	87.9	/ 90	/ 90	90	
	生活保護受給世帯の子どもの高等学校進学率	%	92.9	/ 100	100	/ 100	100	/ 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	養育支援訪問件数	件	1506	/ 1400	1541	/ 1400	1535	/ 1500	/ 1500	1500	
		単位あたりコスト	3.2		3.8		3.6				
	支援プラン作成件数(実)	件	346	/ 150	312	/ 150	387	/ 150	/ 150	150	
		単位あたりコスト	13.8		18.8		14.5				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・母子保健法に基づき、心身の不調や家族等からの支援が受けられない妊産婦を対象に、専門職による妊産婦・新生児訪問を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・医療機関等の関係機関と連携し、役割分担をした支援体制が構築できた。 ・受益者負担をとるべき事業については、所得に応じた料金設定を行った。 ・令和3年度より新たに、助産師訪問以外に相談できる機会として、最大一回につき4ケースの相談に対応することができる「助産師訪問日」を設けた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・平成30年度からの新たな取組みは、府下でも本市が先行して行っており、実情に応じた活動実績、成果目標の設定が行えている。 ・令和3年度には、延べ1,310件の妊産婦・新生児訪問を実施した。 ・助産師相談日は5日間実施し、6ケースの相談を受けた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・子ども政策室は子育て家庭を支援する専門職が集約されているため、令和3年度も必要に応じて多様な分野の専門職がチームを組んで、医療機関など関係機関と連携を図り、スピーディーで質の高い支援を提供することができた。 ・より早期の丁寧な支援は、子育て家庭の養育能力の向上、産後メンタル不調の改善につながり、長期的な訪問等頻回な支援を継続しなくてもよくなるケースの割合が増えた。 ・産婦健診時の「産後うつスクリーニング」実施により、リスクが高い産婦について医療機関から情報提供されるようになった。 ・情報に基づき実施する早期の家庭訪問や産後ケア事業、養育支援訪問などにより、産婦の体力回復と赤ちゃんの生活に順応できるよう支援することで、産婦が心身ともに回復していく様子を見守ることができた。 ・「子育て世代包括支援センター」の対象を自立期(概ね18歳)までとし、高等学校との連携を強化したことにより、中退などの状態に陥る前の早期から自立に向けた支援が行えた。		
改 善 策	・令和4年度は、引き続き地域やNPO法人等行政以外との連携を充実させるとともに、状況に応じた人材確保、職員の更なる人材育成により、すべての子育て家庭をもれ落とさず支援できる体制の充実を図る。 ・また、妊娠届出時の面談の際、説明事項が多く資料準備事務が煩雑化していることから、資料の配布方法等について見直しを行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	妊産婦健康診査事業							事業コード	430511		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331		
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	152	頁
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	母子保健法、子ども・子育て支援法、福知山市妊産婦健康診査事業実施要綱、京都府多胎妊婦健康診査事業補助金交付要綱、子ども子育て計画										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	妊娠期・産後の時期を安心して過ごせるよう、妊産婦健康診査費用の一部を助成する。また、医療機関と連携して実施することにより精神面の不安等を把握し、必要な支援を行い、母子の健康の保持・増進をはかる。					
対象者	福知山市に住民票がある妊産婦		対象者数	1,985	単位あたりコスト	30.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	64,849		62,663		61,914		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		64,849		62,663		61,914								
予算財源内訳	① 一般財源	61,698		59,426		58,907								
	② 国支出金	2,975		3,057		2,934								
	③ 府支出金	176		180		73								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 1,361		0										
	② 配当予算	63,488		62,663										
	③ 執行額	58,333		57,918										
	④ 執行率	91.9%		92.4%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.11	/	0.40	0.11	/	0.44	0.11	/	0.44	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,880		1,980		1,980		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		60,213		59,898		1,980		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	母子保健衛生費国庫補助金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	2,965		決算付属資料	18		頁
			多胎妊婦健康診査支援事業費補助金			衛生費府補助金			43			26		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	4MCIにおいて虐待項目にチェックした人の割合	%	8.2	/	10	8.6	/	10	9.1	/	10
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	産婦健康診査受診率(2週間)	%	78.4	/	80	82.7	/	85	86.7	/	85
	単位あたりコスト		768.0		705.4		668.0				
	妊婦届出以降定期的に受診していない人	人	0	/	0	0	/	0	0	/	0
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	妊産婦健康診査実施要綱に基づき受診券(妊婦・妊婦歯科・産婦)を交付した。全妊婦が経済的負担を感じることなく受診でき、飛び込み出産を防ぐ。転入妊産婦への受診券交付も随時行った。府外の医療機関受診者には、償還払いにて費用負担を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	妊産婦健診単価：京都府と京都府医師会が協議され決定したもので、京都府下一律である。受診券の作成を妊婦・妊婦歯科・産婦一括とし、コスト削減した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	妊産婦健診出時から、受診券を交付することにより、ハイリスクな妊産婦のスクリーニングによって、早期支援が可能になり、届け出後については、定期受診できている妊婦がほとんどである。 産婦健康診査：2週間健診の受診率は上昇した(府外受診の受診率の上昇による)。 妊婦歯科健康診査：医療機関の協力もあり、受診率は48.1%と昨年より上昇した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	妊娠届出時に妊産婦健康診査受診券を交付し、妊婦健診の一部を公費負担することで、ほとんどの妊婦が定期的に受診できている。妊娠中、産後の精神的な面への支援については、妊婦相談票等を元に必要な支援につなげた。産婦健康診査の結果については、室内で情報連携し、新生児訪問や赤ちゃん訪問に役立てられている。R3年度は、府外受診者の中で産婦健康診査の実施について問い合わせがあった新規医療機関については、2週間健診、1か月健診の実施の必要性について説明し実施につなげた。2週間健診の受診率は上がってきているが、中には未実施の医療機関が年間数件ある。産後の転入者(産婦健診のみ対象者)の把握が難しく、室内及び医療機関との情報連携が課題である。		
改 善 策	R4年度も引き続き、産後の健康診査について、他府県医療機関を受診した産婦の中で2週間健診、1か月健診を未受診である産婦があった場合は、医療機関に対して個別に連絡し、2週間健診と1か月健診の受診の必要性を説明する。R4年度は、室内の連携をスムーズに行うことができるよう、産後転入者の事務処理のマニュアル作成を行う。また、医療機関との連携を速やかに行い、早期に必要な支援が行き届くようにする。		

iryou

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	骨髄移植後等の予防接種再接種費助成事業					事業コード	410387			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実				
	施策名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進				施策コード	331			
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴			
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中
根拠法令等	骨髄移植後等の予防接種再接種費助成事業実施要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	骨髄移植後等により予防接種で得られた免疫を失った者に対して、感染症予防のための再接種に要する費用を助成することで、接種が受けやすい環境をつくり、免疫力を高め、子どもの健康の保持・増進につなげる。									
対象者	事業要件に該当する市民				対象者数	2		単位あたりコスト	172.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	骨髄移植後等により定期予防接種の効果が期待できないと医師に診断されている者で、再接種日が20歳未満の者に対して医師に再接種が認められた定期予防接種の費用を助成する。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容						
	扶助費	0		予防接種費用償還払い						

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	231		231		231		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
	小計(①～③)	231		231		231						
予算財源内訳	① 一般財源	116		116		116						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	115		115		115						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	231		231								
	③ 執行額	11		0								
	④ 執行率	4.8%		0.0%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.05	/	0.01	0.04	/	0.01	0.04	/	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	425		345		345		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		436		345		345		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	骨髄移植後等の予防接種再接種費助成事業補助金		種類	衛生費府補助金		実績金額	0		決算付属資料	頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	接種者数	人	1	/	1	1	/	2	0	/	2	2
				/		/	/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	広報を行った回数	回	1	/	1	2	/	2	2	/	2	2
	単位あたりコスト		82.7		5.5		0.0					
	単位あたりコスト		/		/		/		/			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・病気の治療のために失った予防接種による抗体価を再接種により上げることができ、感染症から守ることができる。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・再接種費用は、委託単価を上限としている。 ・接種を受けやすい環境づくりのため医療機関や保護者からの問い合わせに対して、制度の説明を行った。 ・対象者の健康状態を把握するため、大学病院の主治医と接種医療機関の医師と連絡調整を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・保護者から対象者の病状把握をし、接種可能時期に接種勧奨を行ったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大による不安、体調不良により計画的な接種には至らなかった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・令和3年度に新規対象者に認定した人は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、病院受診の延期や体調不良により接種に至っていない。 ・新規対象者として認定しても、病状の理由により接種に至らないこともあり、予算執行に至っていない。		
改 善 策	・健診未受診者等で、対象者の可能性がある者に対して事業の概要を説明する。 ・対象者は、遠方の専門病院で治療をしながら、再接種のみを本市の医療機関で行うため、スムーズに接種できるよう、対象者に認定してから接種するまでの期間、保護者と医療機関と情報連携を行う。 ・予防接種で防ぐことができる病気の免疫力が高められるよう、未接種の定期予防接種についても主治医の許可が出れば接種ができるように接種計画を立て、対象者支援を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新生児聴覚スクリーニング検査費助成事業							事業コード	430522	
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	3 安心して出産、子育てできる環境の充実			
	施 策 名	1 子どもや保護者の健康の保持・増進						施策コード	331	
事業担当	所 属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴			
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R4現在の状況	継続中
根拠法令等	厚生労働省母子保健課長通知(平成19年1月29日付け雇児母発第0129002号)									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (									

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	難聴は、早期に発見し、適切な支援が行われることで、音声言語の発達の促進やその他のコミュニケーション手段等の早期獲得等により、日常生活をより豊かにする効果が期待できる。子どもの健やかな成長と、保護者が安心して育児ができるよう、検査費用を公費助成し、先天性疾患の中で最も高頻度な疾患の一つである先天性難聴を出生後早期に発見する。				
対象者	R4年度以降出生児で福知山市に住民票がある(予定を含む)新生児	対象者数	700	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算					2,986		予算編成時記入 (3次公表時)	
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0		
	小計(①～③)	0	0	0	0	2,986			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	2,986			
	② 国支出金	0	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	0	0	0				
	③ 執行額	0	0	0	0				
	④ 執行率								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	/	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費		0	0	0	0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	0	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	受診結果が要精密検査である児のうち、4か月児健診時に管理中である児の割合	%	/	/	/	/ 100	100
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	新生児聴覚スクリーニング検査受検率	%	/	/	/	/ 100	100
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題			
改 善 策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--